

佐々町行財政改革プランの進捗状況

1 行財政改革プラン策定の背景

平成18年10月に策定しました「第3次佐々町行財政改革大綱」及び「佐々町行財政改革プラン」は、少子高齢化や景気の低迷といった社会情勢の変化に加え、国の財政構造改革や地方分権の推進などにより、今後ますます厳しくなることが予想される財政状況に対応するため、行財政基盤の強化を図ることを目的としたものです。

行財政改革プランでは、平成18年度から平成22年度までの5年間に取り組むべき5項目について、単純に行政コストを削減するだけでなく、佐々町の実情にあった手法による改革を行うことにしています。

以下に、平成19年度までの達成状況を公表します。

2 計画効果額の達成状況

行財政改革プランでは、改善計画による効果を「計画効果額」といい、この計画を実行した結果による実際の効果を「実績効果額」といいます。

行財政改革プランに掲げた計画効果額に対する平成19年度までの実績効果額及び達成率は、次のとおりとなっています。

(単位:万円)

区 分	H19年度 までの 計 画 効果額 (A)	H19年度までの		H22年度 までの 計 画 効果額 (C)	全体の 進捗率 (B)／(C)
		実 績 効果額 (B)	達成率 (B)／(A)		
1 歳入の確保	31,171	31,194	100.1%	32,260	96.7%
2 歳出の見直し、削減	14,607	17,764	121.6%	35,588	49.9%
3 業務並びに施設の管理運営形態の見直し	2,882	2,421	84.0%	13,500	17.9%
4 投資的事業の適正執行	84,000	86,457	102.9%	139,000	62.2%
5 特別会計繰出金の抑制	9,142	8,390	91.8%	28,338	29.6%
合 計	141,802	146,226	103.1%	248,686	58.8%

3 効果の概要(検証)

上の表を見ると、5項目を合計したH19年度までの達成率は103.1%となっており、概ね計画どおりに進捗していることがわかります。

平成19年度までの達成状況を個別に見た概要は、次のとおりです。

※効果額の▲は「マイナス」の意味で、ここでは「削減額」を表しています。

(1)歳入の確保

・遊休町有地の処分

効果額 3億1,101万円 達成率 100.0%

〔芳ノ浦分譲宅地、旧失業対策紹介所、旧小浦駐在所、小浦工場団地〕

(2)歳出の見直し、削減

- | | | |
|------------|--------------------------------|------------|
| ・ 人件費の総量抑制 | 効果額 ▲ 1億5,607万円 | 達成率 147.3% |
| | 〔職員数 7人削減、各種手当ての見直し、特別職給与等の削減〕 | |
| ・ 補助費等の抑制 | 効果額 ▲ 734万円 | 達成率 67.0% |
| | 〔原則一律5%削減〕 | |

H20年度：更に補助金の見直し、提案公募型補助金を導入の予定

(3)業務並びに施設の管理運営形態の見直し

①業務の見直し

- | | | |
|----------------|-----------------|------------|
| ・ 道路維持補修・清掃等 | 効果額 ▲ 1,716万円 | 達成率 100.0% |
| | 〔作業班嘱託職員数 4人削減〕 | |
| ・ 公民館・勤労青少年ホーム | 効果額 ▲ 199万円 | 達成率 76.5% |
| | 〔嘱託職員数 1人削減〕 | |

②施設の管理形態の見直し

- | | | |
|--------|------------------|------------|
| ・ 皿山公園 | 効果額 ▲ 241万円 | 達成率 100.0% |
| | 〔清掃委託の削減（作業班対応）〕 | |
| ・ 学童農園 | 効果額 ▲ 265万円 | 達成率 100.0% |
| | 〔委託管理人 2人削減〕 | |

H20年度以降：更に管理運営全般を見直しの予定

(4)投資的事業の適正執行

【投資的事業とは、道路、河川、学校などの公共施設の新設や改良などの事業のことをいいます】

- | | | |
|------------|----------------------|------------|
| ・ 投資的事業の抑制 | 効果額 ▲ 8億6,457万円 | 達成率 102.9% |
| ・ 入札制度見直し | H19年度：実施計画を策定、試験的に実施 | |
| | H20年度：試験的に実施の予定 | |

(5)特別会計繰出金の抑制

- | | | |
|----------------|----------------------------|------------|
| ・ 水道事業の人件費の削減 | 効果額 ▲ 944万円 | 達成率 67.5% |
| | 〔職員数 1人削減〕 | |
| ・ 下水道使用料の改定 | 効果額 5,698万円 | 達成率 100.0% |
| | 〔超過料金の見直し＝120円/㎡ → 160円/㎡〕 | |
| ・ 町立診療所の人件費の削減 | 効果額 ▲ 1,334万円 | 達成率 87.8% |
| | 〔職員数 1人削減〕 | |

4 まとめ

行財政改革プランの進捗状況は、H19年度までの計画効果額に対する達成率で見ると全体で100%を超える結果となっており、計画どおりに進捗していると言えます。

しかし、個別に見ると取り組みが遅れているもの、また、行財政改革プランの策定時には、検討に時間を要するために計画効果額を設定することができず「今後検討」としている項目があり、検討の結果によって新たに計画効果額を設定する必要があるものもあります。

こうしたことから、全体の進捗状況としては『概ね達成』との評価をすることができますが、今後、未達成の項目などの早期検討を行って具体的な改革の方向性を定めるとともに、必要があれば目標を修正するなどの対応策を講じ、改善を図っていきます。